

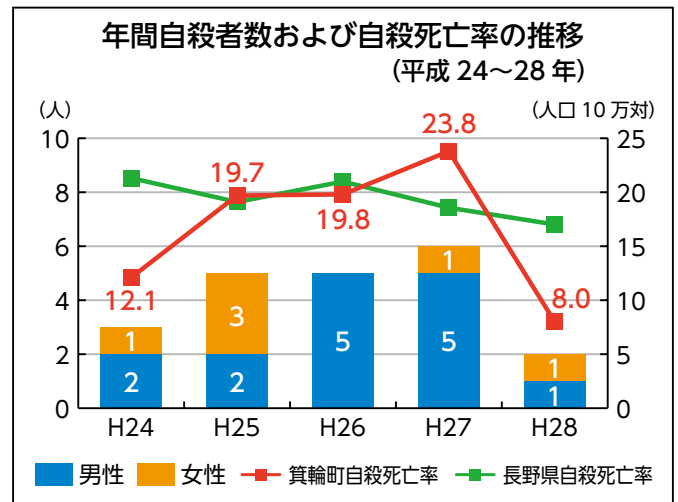


箕輪町自殺対策計画策定しました

箕輪町ではセーフコミュニティの自殺予防対策委員会が策定委員会となり、2019年度～2023年度の5年間に「誰も自殺に追い込まれることのない箕輪町」を目指し、最終年度の2023年度には年間“0人”を目標とし箕輪町自殺対策計画を策定しました。

自殺に至る背景

自殺は、その多くが追い込まれた末の死です。精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因が平均4つ重なることにより、自殺に至るとも言われています。様々な悩みが原因で追い詰められて自殺以外の選択肢が考えられない状態に陥ったり、生きていても役に立たないという役割喪失感や孤立感、過剰な負担感から、危機的な状態にまで追い込まれてしまった結果とも見ることができます。



箕輪町の自殺の現状

平成24年から平成28年の5年間では1年間の平均自殺者数はおよそ4人であり、男性は女性に比べて自殺者数がほぼ2倍です。男性は女性より相談できる人が少ない傾向にあることもわかりました。また、長野県と比べ若者と高齢者の自殺率が高いので対策が必要です。

箕輪町の自殺対策

市町村が共通して取り組むべき「4つの基本施策」と箕輪町の実態を踏まえて取り組む「5つの重点施策」に加え、「生きる支援の関連施策」の3つの施策群で取り組みます。

詳しくは、箕輪町ホームページをご覧ください。

基本施策

- 1 地域におけるネットワークの強化
- 2 自殺対策を支える人材の育成
- 3 町民への啓発と周知
- 4 生きることの促進要因への支援

重点施策

- 1 男性の自殺対策の推進
- 2 高齢者の自殺対策の推進
- 3 若者向けの自殺対策の推進
- 4 労働問題に関わる自殺対策の推進
- 5 生活困窮者の自殺対策の推進

生きる支援の関連施策 (相談支援窓口、地域とのつながりなど)